



いばらき県議会だより

No.185

茨城県議会 検索 <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議及び予算特別委員会を生中継及び録画中継しています
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>
「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/> 本会議及び予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5646 [年4回発行]

自然の宝庫 霞ヶ浦



霞ヶ浦

国内第2位の湖面積を持つ霞ヶ浦は、その美しい眺望で日本百景にも選ばれています。遊覧船などのクルージングをはじめ、ヨットなどのウォータースポーツや、湖畔でのサイクリングも楽しめます。筑波山、阿武隈山地をはじめ、空気の澄んだ日には日光連山の男体山、富士山もご覧いただけます。また、約150種の野鳥や水生植物の宝庫で、豊かな自然に恵まれています。



茨城県霞ヶ浦環境科学センター（土浦市）

霞ヶ浦の歴史や、水質、生息している動植物などを楽しく学べる展示のほか、自然観察会や講演会なども年間を通じて開催しており、子どもから大人まで楽しめます。



霞ヶ浦のワカサギ

霞ヶ浦を代表する魚「ワカサギ」。特に年末に獲れる期間限定の「寒曳きワカサギ」は、年明けの産卵に向け、とても脂がのっています。霞ヶ浦の冬の味覚です。

いばらきの観光情報は「観光いばらき」ホームページでご覧いただけます。 <http://www.ibarakiguide.jp/>

今定例会の概要

平成二十五年第三回定例会は、十月三日から二十八日まで二十六日間の会期で開かれました。

議案は、議員等から防犯カメラ設置促進のための必要な措置を求める意見書など、知事から茨城県一般会計補正予算、茨城県少子化対策審議会条例などが提出されました。

代表質問は、医学部入学定員の拡大、少子化対策、日野自動車関連企業の誘致、茨城県独自の少人数教育などの項目について行われました。(二・三画)

一般質問は、畜産試験場跡地への医科大学誘致、新中核病院建設の見直し、消防救急無線・指令センターの共同整備などの項目について行われました。(四～六画)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、茨城空港送迎デッキのくもりガラスへの対応、霞ヶ浦の水質改善の要因、子ども・子育て支援新制度に向けた取り組み、強い林業づくりへの取り組み、老朽化が懸念される道路施設の点検状況、必要性が高まる女性警察官への支援などを議論しました。(七画)

予算特別委員会は、風評被害に対する県の支援、日本一のサイクリングロードに向けた取り組み、水資源開発の見直し、再生可能エネルギーの普及促進などの質疑を行いました。(八画)

決算特別委員会は、平成二十四年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査しました。(六画)

通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会では、報告書の取りまとめに向け、提言の骨子について協議しました。(二画)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願などの三十件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

代表質問(要旨)



議員 菊池 敏行
いばらき自民党
日立市選出
一括方式

医学部入学定員の拡大

議員 医師不足を解消するため、地域枠による医学部入学定員の拡大とそれに係る教育環境の整備を一層進めるべきである。さらに、卒業後、専門医を取得し、医師として成長していけるような対策を講じることが、直面する医師不足の改善につながると考えるが、所見は。

知事 筑波大学との間で医学部の定数上限百四十人まで定員を拡大し、地域枠の定数を十三人から三十六人に拡大できるように、協議を進めている。今後は、必要な教育環境整備を支援し、上限までの定数増の実現を図るほか、若手医師が地域医療への従事義務の履行と専門医資格の取得が両立できるように、後期研修プログラムやモデルキャリアパス※の作成などを進めていく。

●質問者	10月8日(火)	菊池 敏行 (いばらき自民党)
		佐藤 光雄 (民主)
	10月9日(水)	井手 登 (自民県政クラブ)
		義弘 (公明)

第3回定例会の主な日程

平成25年第3回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 10月3日(木) 本会議 (開会、知事提出議案説明)
- 10月8日(火) 本会議 (代表質問・質疑)
- 10月9日(水) 本会議 (一般質問・質疑)
- 10月10日(木) 本会議 (一般質問・質疑)
- 10月11日(金)
- 10月15日(火)
- 10月16日(水)
- 10月17日(木) 常任委員会
- 10月18日(金)
- 10月21日(月) 本会議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 10月22日(火) 決算特別委員会
- 10月23日(水) 予算特別委員会
- 10月24日(木) 調査特別委員会 (通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会を開催し、調査を行いました。)
- 10月28日(月) 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

六期目の抱負と決意

議員 震災復興をはじめ、県北地域の振興や高齢者を狙った詐欺、いじめ・体罰問題など、課題が山積しているが、新たな発想で、思い切った施策を打ち出し、明るい未来へと扉を開いていかなければならない。六期目の県政運営について、知事の抱負と決意を伺う。

知事 震災・原発事故からの復興に全力を尽くす。本県の将来を見据え、地域の活力を生み出す産業大県づくり、その成果を福祉や教育などにいかす生活大県づくりを進め、日本の発展の一翼を担えるような強いいばらき、世界に開かれたいばらきの実現に向け、柔軟な発想とチャレンジ精神を持って取り組む。

観光誘客の促進

議員 県内隅々まで観光による賑わいや消費が戻るよう、周遊観光の促進や観光客の満足度を高める取り組みなどに一層力を入れる必要がある。シーニック・バイウェイ※の県北地域での展

開も含め、観光誘客の促進にどのように取り組むのか。

知事 今年度は、プレミアム付き宿泊券を販売し、本県への宿泊需要の喚起に努めている。県北地域には、魅力ある場所が多く、これらを活用し、シーニック・バイウェイとすることは十分可能と考える。地域の活動状況を踏まえ、県北地域での実現に向け支援していく。さらに、地域でのおもてなしの浸透を重点的に進める。

国体開催に向けた取り組み

議員 国体開催に向けては、賜杯の獲得を目指し総力を挙げて競技力の向上に取り組むべきである。また、基幹的な県営施設の整備は、復興のシンボルとなるようメリハリの効いた対応が必要である。国体を成功させるため、どのように取り組むのか。

知事 ジュニア層を対象に、オリンピックなどで活躍した選手による出前講座や体験教室、また筑波大学との連携による能力開発プログラム事業などを進めている。会場施設については、

重要港湾の整備と振興

議員 茨城港及び鹿島港は、北関東及び首都圏北部の経済と暮らしを支える重要な物流基盤である。本県港湾の発展は、港湾の整備と振興が相乗的に作用し合うことで可能になる。本県港湾の機能強化と振興策は。



若手医師の教育研修の推進が重要

通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会

通学児童生徒の安全確保に向けた今後の対応などについて活発に議論

児童生徒などを通学時の交通事故や事件の被害から守り、暮らしの中の安全と安心が一層高まるような諸施策のあり方について調査検討するため設置された「通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会」(小川一成委員長)は、これまで精力的に調査を行い、七回の委員会を開催してきました。

そのうち、第四回となる七月二十四日の委員会では、通学児童生徒の安全確保に向けた今後の対応などについて、調査・審議を行い、九月九日には、国土交通省、文部科学省、本田技研工業株式会社から参考人と呼んで意見聴取を行いました。さらに、九月二十四日には参考人からの意見なども踏まえ、安全な道路環境整備のあり方と安全教育のあり方などについて、調査・審議を行いました。

そして、報告書の取りまとめに向け、十月二十四日には提言の骨子について、十一月十三日には報告書について協議しました。



通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会の開催風景

今後、通学児童生徒などの安全・安心のため、精力的に調査を続ける予定です。

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっています。

- 一括方式 質問項目すべてについて一括して質問し、一括して答弁を求めめる方式。
- 分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求めめる方式。

※【モデルキャリアパス】…地域医療の経験を積みながら、専門医として能力を高めることができるよう、どのような医療機関で勤務していくかの道筋などを示したプラン。
※【シーニック・バイウェイ】…魅力ある景観を活かし、地域が主体となって、観光振興や地域の活性化を目指す活動。

代表質問(要旨)



議員 佐藤 光雄 民主党 戸市選 一括方式

少子化対策

議員 県財政が厳しい状況下にあっても、少子化対策には攻めの姿勢で臨むべきだが、今後、マル福制度の拡充も含め、少子化対策をどう展開していくのか。

知事 いばらき出会いサポートセンターを核とした先駆的な結婚支援に積極的に取り組むとともに、子育てしやすい社会をつくるため、企業での働き方の改革促進や、保育の充実による待機児童の解消を一層進めることなどにより、少子化の改善に努める。マル福制度は、できるだけ早い時期に拡充の検討をする。



議員 井手 義弘 民主党 立市選 分割方式

茨城県独自の少人数教育

議員 今回の選挙で、知事は少人数教育の拡充を公約に掲げたが、そのために必要な教員の確保や予算措置など、早期実現に向けての具体策と、その具体的な実施時期は。

知事 必要となる教員数も考慮した適正な採用計画の推進、再任用の促進などにより必要な教員を確保し、予算措置について

安定した雇用の確保

議員 正規雇用を希望しながらも、やむなく非正規雇用で働く人が増えている。正規雇用を望む人への支援も含め、安定した雇用の確保にどう取り組むのか。

知事 正規雇用者を増やすため、雇用創出等基金を活用し、大卒等未就職者人材育成事業や、成長が期待される介護・福祉分野の事業を実施している。また、就職面接会やセミナーの開催など、きめ細かな就職支援とともに、優良企業の誘致、中小企業の育成、新産業の創出支援など、産業振興策にも取り組む。

茨城のイメージアップ

議員 イメージアップを図ることとは、県勢発展のあらゆる面で重要だが、知事六期目の戦略をどう考えているのか。

知事 銀座のアンテナショップ、



積極的な少子化対策を推進

インターネットテレビなどさまざまな事業の推進に加え、新たな取り組みとして、本県出身の人気お笑い芸人をいばらき宣伝隊長に起用した「いばらきを知ろう!大キャンペーン」や、郷土愛を育むためのいばらきっ子郷土検定を始めた。また、団体などに向けたPRにも努める。(ほかに、知事六期目の県政運営、医療を支える人材の確保、国際化教育の推進なども質問)



議員 半村 登 民主党 自民県政クラブ 猿島郡選 一括方式

日野自動車関連企業の誘致

議員 日野自動車古河工場の本格稼働が四年前倒しの平成二十八年となったが、本県初の自動車メーカーの進出や圏央道の開通などの好機を逃さず、関連企業などに積極的にアプローチし誘致に取り組むべきと考えるがどうか。

知事 日野自動車との取引シェアの高い企業などをターゲットに誘致活動を続けるとともに、開発予定の産業用地のPRや、周辺市町との連携による事業環境の整備などに努め、自動車関連産業の集積を図っていく。

策定し、再生可能エネルギーの導入促進を積極的に図っていく。

東海第二発電所再稼働問題

議員 東海第二発電所の再稼働は、設備、住民避難、地元同意など多くの問題を抱えているが、再稼働の問題点と今後の対応、さらに東海村とその周辺地域の発展に向けた原子力科学の活用について、知事の所見は。

知事 今後の国の動向や他県との協議の状況などを踏まえながら、再稼働の考え方などについて慎重に検討していく。また、J-POWERの活用などから新事業・新産業の創出を図り、



少人数教育の早期拡充を

東海村とその周辺地域の発展につなげていく。(ほかに、東京オリンピックと茨城県の対応、茨城県のブランド力向上策なども質問)

圏央道の開通に向けた県の取り組み

議員 東北道から(仮称)境インターチェンジまでの開通が来年度と示され、企業の動きも活発化してきている。各インターチェンジ周辺では、新たなまちづくりの開発や工業団地の計画も具体化してきているが、圏央道の開通に向け、県はどのように取り組んでいくのか。

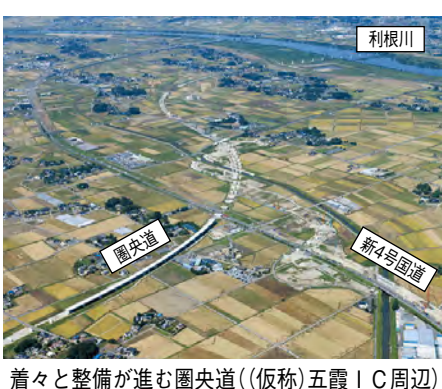
知事 インターチェンジにアクセスする国道道の整備推進に努め、圏央道の整備効果が最大限生かせるよう、市町が進める沿線開発を積極的に支援していく。目標どおり開通できるよう必要な予算の確保や工事の重点的実施を国などへ働きかけていく。

本県農産物の風評対策

議員 本県農産物の販売状況は回復傾向にあるが、依然として震災前の水準には及ばない状況

である。根強く残る風評を払拭し、本県農産物の販売促進を図っていくためどのような対策を行っていくのか。

知事 首都圏量販店でのフェアを継続的に展開するほか、関西方面でのPRなど、きめ細かな対策を実施する。また、メディアを活用した情報発信によりイメージアップを進める。(ほかに、振り込め詐欺対策、新四号国道の整備状況、全国高等学校総合文化祭なども質問)



着々と整備が進む圏央道((仮称)五霞)C周辺

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴(定員300名)を希望される方は、県議会議事堂5階の傍聴受付で簡単な手続きをしていただくだけで入場できますので、是非お越しください。なお、手話通訳を希望される方、委員会の傍聴を希望される方、その他詳細についてお知りになりたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせください。



お問い合わせ先

電話 029-301-5634 FAX 029-301-5629

一般質問(要旨)

●質問者

10月10日(木)

常井 洋治 (いばらき自民党)

鈴木 聡 (日本共産党)

先崎 光 (いばらき自民党)

10月11日(金)

星田 弘司 (いばらき自民党)

齋藤 英彰 (民主党)

本澤 徹 (いばらき自民党)

10月15日(火)

田村 けい子 (公明党)

石井 邦一 (いばらき自民党)

加藤 明良 (いばらき自民党)

10月16日(水)

横山 忠市 (いばらき自民党)

川口 政弥 (自民県政クラブ)

山岡 恒夫 (いばらき自民党)



議員 常井 洋治 (いばらき自民党) 出選方式 市選方式 分割方式

畜産試験場跡地への医科大学誘致方針の明確化

議員 本県の医師数は全国的に最低クラスにあり、その解消のためには、医科大学の誘致は絶対に必要である。そのため、知事は改めて医科大学誘致の方針に変更はないとの決意表明をしてはどうか。

がん患者と家族を孤立させない 方策の実現 議員 がん患者はがん患者特有の心理的状況に悩まされる人が多い。そのため、心理的不安を和らげる臨床心理士などがある相談窓口やデイケアなど、患者を孤立させず、家族を支援する全県的な仕組みづくりが必要と考えるがどうか。



医科大学誘致が望まれる畜産試験場跡地(笠間市)



議員 鈴木 聡 (日本共産党) 出選方式 市選一括方式

新中核病院建設の見通し

議員 新中核病院の建設は、地域医療再生計画の原点に立って進めるべきである。知事には筑西・桜川両市長に話し合いを進めるよう要請するとともに、病院建設に向け、再生基金活用の期限延長を国に求めるべきと考えるがどうか。

東海第二発電所再稼働準備中止、廃炉に

議員 日本原子力発電は東海第二発電所の再稼働を目指したいと表明したが、新規基準は放射能を外部に放出することを前提とするなど問題がある。県民の安全のため、東海第二発電所の再稼働中止と廃炉を求めるべきではないか。



整理統合が望まれる筑西市市民病院



議員 先崎 光 (いばらき自民党) 出選方式 市選分割方式

消防救急無線・指令センターの共同整備

議員 消防救急無線などの県域一ブロック化を目指したが、三十四市町二十一消防本部の参加にとどまった。今後、不参加の市町村へのフォローと共同指令センターなどの運営にどう取り組むのか。



共同指令センターの様子(ちば消防共同指令センター)

林業を支える苗木生産の振興

議員 持続的な林業経営の推進には、間伐に加え、木材利用の拡大や積極的な植林、そのための苗木の生産、供給が必要である。苗木生産をどう振興していくのか。



議員 星田 弘司 (いばらき自民党) 出選方式 市選分割方式

つくば国際戦略総合特区の進捗状況に対する国の評価

議員 一昨年十二月に指定を受けたつくば国際戦略総合特区の取り組みは、推進体制が整い具体的に機能し始めてきた。現在の進捗状況に対しての国の評価はどうか。

小児医療費助成制度の拡充

議員 県の小児医療費助成制度は小学校三年生までが対象だが、市町村は独自で県の基準に上乗せして助成している。住む場所によって助成内容に差がある不公平を是正するため、県として制度の拡大を実施すべきではないか。



「ロボットの街つくば」の公道を走るセグウェイ

県議会中継で手話通訳を行っています

平成25年第2回定例会から、本会議の議会中継に手話通訳を導入し、聴覚障害のある方にも、県議会の活動、県政の課題などをタイムリーにお知らせすることが出来るようになりました。



県議会ホームページ http://pref.ibaraki.jp/gikai/ 「いばキラTV」 http://ibakira.tv/

一般質問(要旨)



議員 齋藤 英彰
民主党 出
市長 立 一
一括方式

県北地域における若者の定住人口確保

議員 県北地域は、県内の他の地域より人口が減少している。特に若者の転出が顕著であり、危機感を持っている。若者の定住人口を確保するための方策は。

知事 働く場の確保と医療や子育て環境の充実が必要である。電気機械産業などの集積を生かした企業誘致や日立のものづくり産業の振興などと同時に、医師確保や中核的な病院の整備支援、保育所整備など、子育てがしやすい環境づくりに努める。

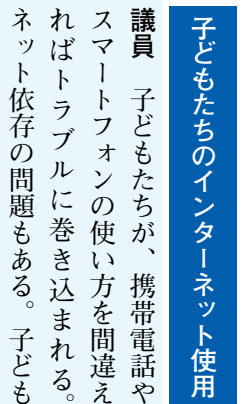


議員 本澤 徹
民主党 出
市長 田 一
一括方式

涸沼のラムサール条約登録に向けての取り組み

議員 涸沼のラムサール条約登録に向けては、地元の気運の盛り上がりが必要であるなど乗り越えなければならないハードルが多いと聞いているが、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 市町村と連携・協力の上、利害関係人との調整や登録に必要な資料の作成などの準備を進めるとともに、地元住民への説明会や有識者による講演会を開催して登録気運の醸成を図り、登録を推進する協議会を設置していく。



子どもたちのインターネット使用

議員 子どもたちが、携帯電話やスマートフォンを使い方を間違えればトラブルに巻き込まれる。ネット依存の問題もある。子どもたちがインターネットを適切に使用するための取り組みは。

教育長 情報モラルについて、子どもたちへの指導や保護者に対する講演会を実施している。今後、ネット依存などの実態把握に努め、保護者と連携を図りながら、ネットトラブルから子どもたちを守る。(ほかに、雇用確保、再生可能エネルギーの導入促進なども質問)

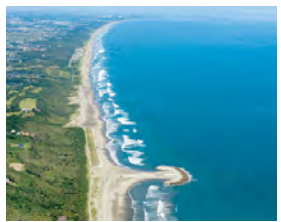


子どもたちへの情報モラルに関する講演会

銚田海岸の侵食対策

議員 本県有数の観光地である銚田海岸は、近年、侵食による海岸線の後退が著しく、このままでは貴重な砂浜が失われてしまう。今後の侵食対策への取り組みは。

土木部長 侵食対策には海面に潜った突堤が有効であることから、その具体的な構造の設計や施工方法についての検討を進めるとともに、関係者との合意形成を図り、早期の工事着手を目指していく。(ほかに、北浦の水質改善、不適正残土・産業廃棄物の不法投棄対策の連携なども質問)



本県有数の観光地である銚田海岸(銚田市)



議員 田村 けい子
民主党 出
市長 明 一
くば市選出
分割方式

子ども支援の強化

議員 これまで子ども関連施策は、保育、教育など大人側の支援策が先行してきたが、子ども支援という観点も必要である。総合的な施策推進のために子ども条例を制定するなど支援を強化してはどうか。

知事 大好きいばらき新エンゼルプラン二十一を策定し、子どもが健やかに育ち、子育てに魅力や喜びを感じられる社会の実現を目指して施策を進めている。今後、プランの改訂を行う中で、条例制定の必要性についても検討する。

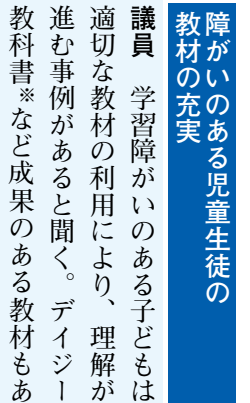


議員 石井 邦一
民主党 出
市長 太田 一
常陸太田市選出
一括方式

県北山間地域の人口減少対策

議員 今後、少子高齢化の急速な進展が見込まれる県北山間地域の人口減少を食い止めるため、具体的にどのように対応していくのか。

企画部長 地域の活力を維持していくため、宮の郷工業団地への企業誘致や遊休施設への教育・福祉関連施設などの誘致、地域医療体制の充実、幹線道路の整備などに取り組むとともに、地域おこし協力隊の取り組みを広げるなど、「働く場の確保」と「生活環境基盤の充実」に全庁を挙げて取り組む。



障がいのある児童生徒の教材の充実

議員 学習障がいのある子どもは、適切な教材の利用により、理解が進む事例があると聞く。デジタル教科書※など成果のある教材もあるので、教員や保護者への教材の情報提供を強化してはどうか。

教育長 教員研修などを通じ、有効な教材や指導方法の理解促進を図る。特別支援学校においても活用できる教材をウェブページで公開し、学校公開日には展示するなど、情報提供に努めていく。(ほかに、女性活躍の推進、生物多様性地域戦略の推進なども質問)



教員手作りの教材を用いて漢字の学習をしている様子

自動車の盗難対策

議員 本県における自動車盗難の犯罪率、六年連続全国ワースト第一位を返上するため、条例で必要な規制を行うなど強力に対策を講じる必要があるのではないか。

警察本部長 「自動車盗対策プロジェクト・チーム」の設置や各種被害防止対策を行うほか、必要な規制を行うための県安全なまちづくり条例の一部改正を検討するなど、自動車盗対策を強化していく。(ほかに、FIIT構想圏域に基づくドクターヘリの連携なども質問)



県警と企業との連携により開発した自動車盗難防止器具

今定例会で可決された主な議案

- 議員等提出
 - 防犯カメラ設置促進のための必要な措置を求める意見書
 - 教育予算の拡充を求める意見書
- ほか三件
- 知事提出
 - ◆平成二十五年度補正予算関係
 - 一般会計予算
 - ◆条例の制定
 - 茨城県少子化対策審議会条例
 - ◆条例の一部改正
 - 茨城県税外収入金の延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
 - 茨城県社会福祉審議会条例の一部を改正する条例
- ほか三件
- ◆その他
 - 茨城県立医療大学条例及び茨城県立医療大学授業料等徴収条例の一部を改正する条例
 - 八ッ場ダムの建設に関する基本計画の変更に関する意見について
 - 和解について(藤代紫水高校バスケットボール事故損害賠償請求事件)
 - ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について
 - ◆人事
 - 公安委員会委員の任命について
- ほか三件

可決された意見書

- (全文はホームページでご覧になれます)
- 防犯カメラ設置促進のための必要な措置を求める意見書
- 教育予算の拡充を求める意見書
- 茨城の子どもたちを放射能から守るために原発事故子ども・被災者支援法に基づく適切な対応を求める意見書
- 東日本大震災からの本格復興を目指し、医師不足を抜本的に解消するための茨城県への医学部新設を求める意見書
- 新聞購読料への消費税軽減税率適用に関する意見書



岡田広内閣府副大臣兼復興副大臣(右)に意見書を提出する白田信夫県議会議長(左)

採択された請願

- (全文はホームページでご覧になれます)
- ◆総務企画委員会
 - 新聞購読料への消費税軽減税率適用に関する請願
- ◆文教警察委員会
 - 教育予算の拡充を求める請願

※【ラムサール条約】…特に水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的とする条約。
※【デジタル教科書】…教科書の内容をパソコンなどを活用して画面に表示し、音声や文字で同時再生できるようにした教科書。

一般質問(要旨)



加藤 明良 議員
いばらき自民党
水戸市選出
分割方式

本県の魅力度向上に向けた取り組み

議員 「地域ブランド調査」において、本県の魅力度ランキングが再び最下位となった。魅力度向上のため、県外への情報発信の強化や知事の精力的なトップセールスが必要と考えるがどうか。

知事 茨城マルシェやいばキラTVの充実に加え、「なめんなよいばらき県」のスローガンを前面に「いばらきを知ろう!大キャンペーン」で魅力を紹介していく。私自身を含め、県庁をあげて県の魅力発信に精一杯取り組む。



横山 忠市 議員
いばらき自民党
行方市選出
一括方式

鹿行地域の振興

議員 鹿行地域は著しい人口減少や少子高齢化により、活力の低下が懸念される。地域の個性を活かしたさらなる発展につながる振興策が必要である。「生活大県」の実現に向けた本地域のビジョンは、知事 首都圏の食料供給基地としての農業の振興や、鹿島港や東関東自動車道水戸線の整備効果を活かした国際競争力のある産業拠点の形成、自然や歴史、スポーツ資源を活かした観光交流の促進に取り組む、元気な地域にしていく。

水戸ホーリーホックの活用と支援

議員 水戸ホーリーホックは地域の期待とともにファン層を拡大しており、今後のさらなる発展が期待される。地域資源としての活用と支援について今後の取り組みは、企画部長 本県の貴重な地域資源と捉え、県のイメージアップや地域活性化事業などに活用するとともに、茨城空港での展示やいばキラTVでの配信など、さらなるPRの検討を含め、水戸市などと連携を図りながら支援を行っていく。

(ほかに、偕楽園・弘道館のグラウンドデザインなども質問)



活躍が期待される水戸ホーリーホック

霞ヶ浦導水事業の促進

議員 霞ヶ浦導水事業は完成まであと一步のところまで足踏みしている。霞ヶ浦の水質浄化のため、事業を促進し、一日も早く導水を開始させたい。今後の県の対応は、企画部長 国の検証作業の九月の幹事会で本事業が他と比較して最も有利との案が示された。治水・利水の両面、特に霞ヶ浦の浄化に極めて重要な事業であり、市町村や関係都県とともに事業継続と早期完成を国に対し強く求めていく。

(ほかに、農業の振興、公立小中学校統廃合への支援なども質問)



県民の貴重な財産である霞ヶ浦



川口 政弥 議員
自民県政クラブ
取手市選出
一括方式

災害に強い県土づくりの推進と自衛隊などとの連携

議員 県民が安心して暮らせる社会づくりを推進するため、自衛隊をはじめ、警察や消防など関係機関との連携が必要であるが、災害時に自衛隊など関係機関とのように連携を図っていくのか。

知事 県と警察、自衛隊など防災関係機関からなる連絡会議を開催し、意見交換などを行うほか、総合防災訓練を通じて、災害時に円滑かつ的確に初動対応や応急対策が実施できるよう、一層の連携強化を図る。

指定廃棄物等の保管

議員 指定廃棄物※などは、最終処分場候補地選定が難航しているため、県内各地に分散して保管せざるを得ないが、保管対策についてどのような対応をしていくのか。

生活環境部長 これまで三度にわたる県独自の現地検査を行い、その都度全保管施設で保管基準を満たしていることを確認している。今後も、定期的な検査のほか、一時保管者と相談し、屋内保管など保管対策の強化を進めていく。

(ほかに、取手競輪、県道谷田部藤代線の整備なども質問)



自衛隊との訓練の様子



山岡 恒夫 議員
いばらき自民党
牛久市選出
一括方式

感動のある茨城づくり

議員 障害者の就労促進のため、共に働くことでお金に換算できない豊かさが得られることを、知事を先頭に企業などにPRし、障害者と共に働ける事業所を一つでも多くつくるべきである。障害者の就労支援に向けた取り組みは、知事 自らも企業関係者との懇談などを通して、障害者の明るさや真面目な姿勢が職場に様々な良い影響をもたらすことなどを訴え、障害者に働く場を一つでも多く提供できるように取り組んでいく。

(ほかに、圏央道の周辺整備、県税徴収率の向上策なども質問)



都内有名専門店での対面販売実習を行う農業大生

農業大県としての農業教育のあり方

議員 実践力や課題解決能力を持った人づくりを進め、未来を担う人材を育てていくことが、茨城農業の発展には不可欠である。今後、農業大学校においてどのような農業教育を進めていくのか。

知事 栽培や経営の基礎習得に加え、対面販売実習などを通じ、優れた農業者を養成する。また、大学や研究機関などが数多い本県の学習環境を生かし、農大を中心として農業教育の先進県を目指していく。

原子力発電関係道県議会議長協議会が開催され、原子力発電の安全確保に関する要請書を国に提出しました

本県を含む原子力発電関連施設が立地する、十四道県議会議長の議長で構成される「原子力発電関係道県議会議長協議会」が十月三十一日に開催されました。臨時総会終了後、会長である本県の白田信夫議長を中心に、浜田靖一自民党幹事長代理のほか、赤羽一嘉経済産業副大臣及び池田克彦原子力規制庁長官を訪問し、原子力発電の安全確保などに関する要請書を提出しました。

要請において、白田議長は福島第一原子力発電所事故の早期収束について「東京オリンピック・パラリンピックの開催決定や安倍総理大臣が世界に事態の収束を約束したことも踏まえ、一層スピード感を持って対応していただきたい」と求めたのに対し、赤羽経済産業副大臣は「国としてもしっかりと対応していく」と答えました。



赤羽一嘉経済産業副大臣(中央)に要請を手渡す白田信夫県議会議長(左から二番目)

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(小田木真代委員長)では、七月二十九日に委員会を開催し、全国都道府県議会議長会の内田謙事調査部長から「決算審査の考え方」について、意見聴取を行いました。

また、十月十六日に付託された「平成二十四年度茨城県公営企業会計決算の認定」及び「平成二十四年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分」について、十月二十二日に委員会を開催し、審査を行いました。

今後は、「平成二十四年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催し部門別審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑の後、採決を行う予定です。

※【指定廃棄物】…東京電力福島第一原発事故で発生した放射性セシウムの量が1キログラム当たり8,000ベクレルを超過している焼却灰や汚泥などであって、環境大臣が指定した廃棄物。

常任委員会の審査から

農林水産委員会

強い林業づくりへの取り組みは 木質バイオマスの利用などを推進する

問 強い林業づくりについての取り組みに組んでいくのか。

答 木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用する「緑の循環システム」づくりのため、間伐などの森林整備や、宮の郷工業団地への木材関連施設の整備などを進めてきた。今後はさらに、木質バイオマスの利用などにも取り組み、強い林業づくりを推進していく。

問 本県農産物を活用するよう、飲食店に対しても働きかけていく必要があるのではないか。

答 飲食店や飲食店組合に対して、「茨城をたべよう運動」への参加を呼びかけ、「茨城



本県農作物の積極的な活用を

をたべようフラッグ」の掲出や「茨城をたべようDay」の普及を図るなど、本県農産物の積極的な活用を働きかけていく。

(ほかに、農産物の海外輸出、飼料自給率向上への取り組みなども質問)

総務企画委員会

茨城空港送迎デッキのくもりガラスへの対応は 引き続き透明化に向けて協議していく

問 茨城空港ターミナルビルの送迎デッキには、飛行機見学を楽しみに子どもたちなど多くの人が来場する。送迎デッキのくもりガラスを透明化するとはできないのか。

答 送迎デッキのくもりガラスについては、百里基地と協議の上、県が設置した経緯があるが、様々な機会に県民の声を伝えてきたところである。今後も透明化に向けて引き続き対応を協議していく。

問 県債残高の縮減に向け計画的に取り組んでいくとのことだが、どのような目標を設定しているのか。

答 第六次行財政改革大綱に



茨城空港ターミナルビル(小美玉市)

おいて、特例的県債を除く県債残高の縮減を財政健全化目標として掲げ、県債発行額を前年度以下に抑制するという目標を設定している。

(ほかに、東京オリンピックへの対応、TX沿線地区の土地販売なども質問)

土木企業委員会

老朽化が懸念される道路施設の点検状況は 総点検を進め、大部分は今年度内に完了予定

問 道路施設の老朽化が懸念されるなか、利用者の安全確保のため、点検や対策が必要である。取り組み状況は。

答 橋りょう・トンネル・標識などの道路施設の総点検を進めており、一部を除き、今年度内に完了予定である。橋りょうの長寿命化を順次進めており、耐震化についても高速道路などにかかる優先度の高いものから実施していく。

問 利根川のホルムアルデヒド検出事故を踏まえ、県域を越えた危機管理体制は。

答 他県の環境部門と水道部門を含め、水系の関係自治体間で情報を共有できる体制を



道路施設の点検状況(写真は常陸川大橋(神栖市))

とつている。事故時も上流部の状況から到達時間を判断し、水質検査や運転管理上の対応を行った。今後とも連携を図り、安全な水の供給に努める。

(ほかに、茨城港日立港区のビジョン、阿字ヶ浦海岸の砂流出や高潮対策なども質問)

防災環境商工委員会

霞ヶ浦のCOD改善の要因は 生活排水対策などの効果による

問 霞ヶ浦について、水質汚濁の代表的指標であるCOD※は湖沼水質保全計画目標値を達成していないものの改善は進んでいるが、その要因は。

答 湖沼水質保全計画を策定し浄化対策に取り組むとともに、平成二十年度から森林湖沼環境税を導入し、高度処理型浄化槽の設置や下水道への接続などをより強力に進めてきた。この結果、CODが改善してきたと考えている。

問 本県の起業率は低い状況にあるため、起業をフォローする施策が必要ではないか。

答 起業時の人の確保のため、新たに起業支援型地域雇用創



霞ヶ浦の調査研究などを行う霞ヶ浦環境科学センター(土浦市)

造事業を実施するほか、創業についての相談窓口の設置やセミナーの開催、制度融資などの支援を行っている。

(ほかに、指定廃棄物最終処分問題、観光面における魅力度向上に向けた取り組みなども質問)

文教警察委員会

必要性が高まる女性警察官への支援は 女性が働きやすい職場環境を整備していく

問 DVやストーカー犯罪の増加などにより、女性の視点に立った被害者や相談者への対応が求められており、女性警察官の必要性が高まっているが、女性警察官への支援は。

答 女性警察官の活躍できる職域は広がっており、積極的な採用とともに、施設の改良や出産育児支援の拡充など、女性が働きやすい職場環境を整備していく。

問 水戸高等特別支援学校の入学希望者が増えているが、比較的軽度の知的障害のある生徒を対象とした学校を増やす必要があるのではないか。

答 現在、生徒の障害の程度



活躍の場が広がる女性警察官

や進路希望に応じて指導を行うコース制について、七校で導入を進めているほか、既存校における新学科の設置の必要性なども検討している。

(ほかに、自動車盗対策の強化、教育現場における生徒指導のあり方なども質問)

保健福祉委員会

子ども・子育て支援新制度に向けた取り組みは 審議会を設置し新制度への円滑な移行を図る

問 平成二十七年から始まる子ども・子育て支援新制度に向けた県の取り組みは。

答 新たに「少子化対策審議会」を設置し、「子ども・子育て支援事業支援計画」を策定するなど、新制度への円滑な移行を図ることにより、少子化対策及び子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。

問 県立病院の経営形態について、引き続き地方公営企業法の全部適用※により改革を充実させるとのことだが、その取り組みの基本的な考えは。

答 保健福祉部と協力し、県全体の保健医療政策を考え、県



質の高い子育て支援を

議会などとの連携のもと、人材確保や財務運営などの権限を十分に行使・活用して、ステップアップした全部適用となるよう取り組んでいきたい。

(ほかに、鹿島労災病院の現状と課題、県立病院の消費税増税の影響なども質問)

※【COD】…(chemical oxygen demand: 化学的酸素要求量)数値が大きいほど水中の有機物が多いことを示し、水質汚濁の程度も大きくなる。単位はmg/l。
 ※【地方公営企業法の全部適用】…公立病院は同法の財務規定のみが適用される(一部適用)が、条例で組織や職員の身分規定などすべての条文を適用すること。

予算特別委員会

●質問者

- 館 静馬 (いばらき自民党)
- 青山 大人 (民主党)
- 大内 久美子 (日本共産党)
- 鈴木 定幸 (いばらき自民党)
- 神達 岳志 (いばらき自民党)
- 八島 功男 (公明党)
- 臼井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 福地 源一郎 (いばらき自民党)

スを整備し、総延長百七十六キロのコースを提案するが。

企画部長 本年四月に関係市町村と検討会を設置し、今後、既存道路を活用した霞ヶ浦一周ルートの検討のほか、トイレや休憩スペースの整備など、ハード・ソフト両面から、日本一のサイクリング環境づくりに取り組む。

(ほかに、県民の声を聞くためのフェイスブックの活用、無線LANの普及促進なども質問)

大内久美子委員(共産) 県は国に霞ヶ浦導水事業の推進を繰り返し要望している。事業を推進すれば、事業費の大幅増が県財政と水道事業、水道料金に重くのしかかってくる。知事の役割は事業の中止を国に求めることだと思いが、所見は。

知事 霞ヶ浦の水質浄化や利根川・那珂川の濁水被害の軽減は喫緊の課題である。事業完成を前提に暫定水利権を取得し、既に水道・工業用水として供給しており、事業は治水・利水の両面から重要であることから中止は適当ではないと考える。

(ほかに、県立あすなろの郷、水道料金の値下げなども質問)

鈴木定幸委員(自民) 太陽光発電など再生可能エネルギーで発電された電気は、固定価格買取制度により有利な価格での長期買い取りが約束された。県民が広くこの制度の利益を受けられるよう、今後、再生可能エネルギーの導入をどう図るのか。

企画部長 再生可能エネルギーアドバイザー制度により、市町村の取り組みを支援し、エネルギーの地産地消を目指すほか、年度内に新たなエネルギープランを策定するなど、地域・県民の利益となるよう積極的に取り組んでいく。

(ほかに、漫画「はだしのゲン」の取り扱い、枝物産地の振興なども質問)

神達岳志委員(自民) 自動車盗の抑止対策として、千葉県では犯罪の温床ともなっているヤード※を規制する条例の制定を目指しているが、本県としても、早急に対策をとる必要があるのではないかと。

警察本部長 ヤードの存在が自動車盗多発の一要因であるため、窃盗グループの徹底検挙を図るとともに、条例でのヤードの規制についても、他県の状況も見ながら検討するなど、県民の貴重な財産を守るため、総力を挙げて取り組んでいく。

(ほかに、本県の魅力度アップに向けた体制の整備、ラジオ放送の強化対策なども質問)

八島功男委員(公明) 知事は就任当初から教育問題に熱心に取り組んでおり、教育問題に触れるときは必ず道徳教育を語る。知事が目指す道徳教育とは何か。

知事 子どもたちに社会性や自主性、人間愛などの豊かな心をいかにして培っていくかが、茨城だけでなく日本の教育にとって何よりも重要である。今後とも児童生徒の心の琴線に触れ、人間としての在り方、生き方を主体的に考える心豊かな茨城の子どもたちの育成を目指していく。

(ほかに、中小企業等グループ施設等災害復旧事業、特別支援学校の教育環境なども質問)

臼井平八郎委員(自民) ユネスコ無形文化遺産などに登録され、本県が世界に誇る「結城紬」の需要の開拓を中心とした振興策は、**商工労働部長** 新たな需要の開拓に向け、PRイベントや直接販売会、茨城・栃木両県での共同イベントな

ど積極的に支援している。貴重な技術を継承する人材育成とともに、市場の動向を捉えた製品づくりや販路開拓など、伝統の継承と産業振興の両面から産地をサポートしていく。

(ほかに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした県保有地の販売促進、県自然博物館の充実なども質問)

福地源一郎委員(自民) 東日本大震災により、本県の財政状況の悪化を懸念していたが、将来負担比率は平成二十三年度と比べわずかながら改善した。どのようにして将来負担比率を改善したのか。

総務部長 保有土地に係る将来負担額の縮減に重点的に取り組み、毎年度当初予算に百億円の対策額を計上するとともに、年度内の予算節約などにより必要な財源を確保し、平成二十二年度からの三年間で約六百十八億円の対策の前倒しを実施することなどにより改善を図ってきた。

(ほかに、財務諸表の活用、公文書保存管理なども質問)

お知らせ

次回の、平成25年第4回定例会は、12月2日から16日までの15日間の会期日程で開催予定です。

月日	曜	議事予定
12.2	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
3	火	休会(議案調査)
4	水	休会(議案調査)
5	木	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
6	金	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
7	土	
8	日	
9	月	休会(常任委員会)
10	火	休会(常任委員会)
11	水	休会 (通学児童生徒の安全確保に関する調査特別委員会)
12	木	休会(決算特別委員会)
13	金	休会(議事整理)
14	土	
15	日	
16	月	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

県議会の情報公開

県議会情報公開制度は、広く開かれた県議会の実現のため、公文書を開示、提供する制度です。インターネットを利用した開示請求もできるようになっています。


お問い合わせ先

議会事務局総務課
TEL 029-301-5613
「いばらき電子申請・届出サービス」
<https://www1.asp-ibaraki.jp/e-home/SinseiPortal/toppage.do>
※茨城県議会ホームページからもアクセスできます。


◆ 新人事

九月八日の茨城県議会議員補欠選挙で当選した次の議員が、九月十一日に初登壇し、それぞれ次の常任委員会委員に選任されました。


◆ 鈴木 木 (筑西市選挙区)
保健福祉委員会委員に選任



◆ 中村 修 (取手市選挙区)
土木企業委員会委員に選任



◆ 稲葉 貴大 (古河市選挙区)
農林水産委員会委員に選任



※【ヤード】…自動車解体業の許可を受けた業者などが設置する使用済自動車の保管施設。近年、盗難自動車を海外に輸出する目的で部品に解体するなど、様々な不法行為の温床となっている違法なヤードの存在が確認されている。